

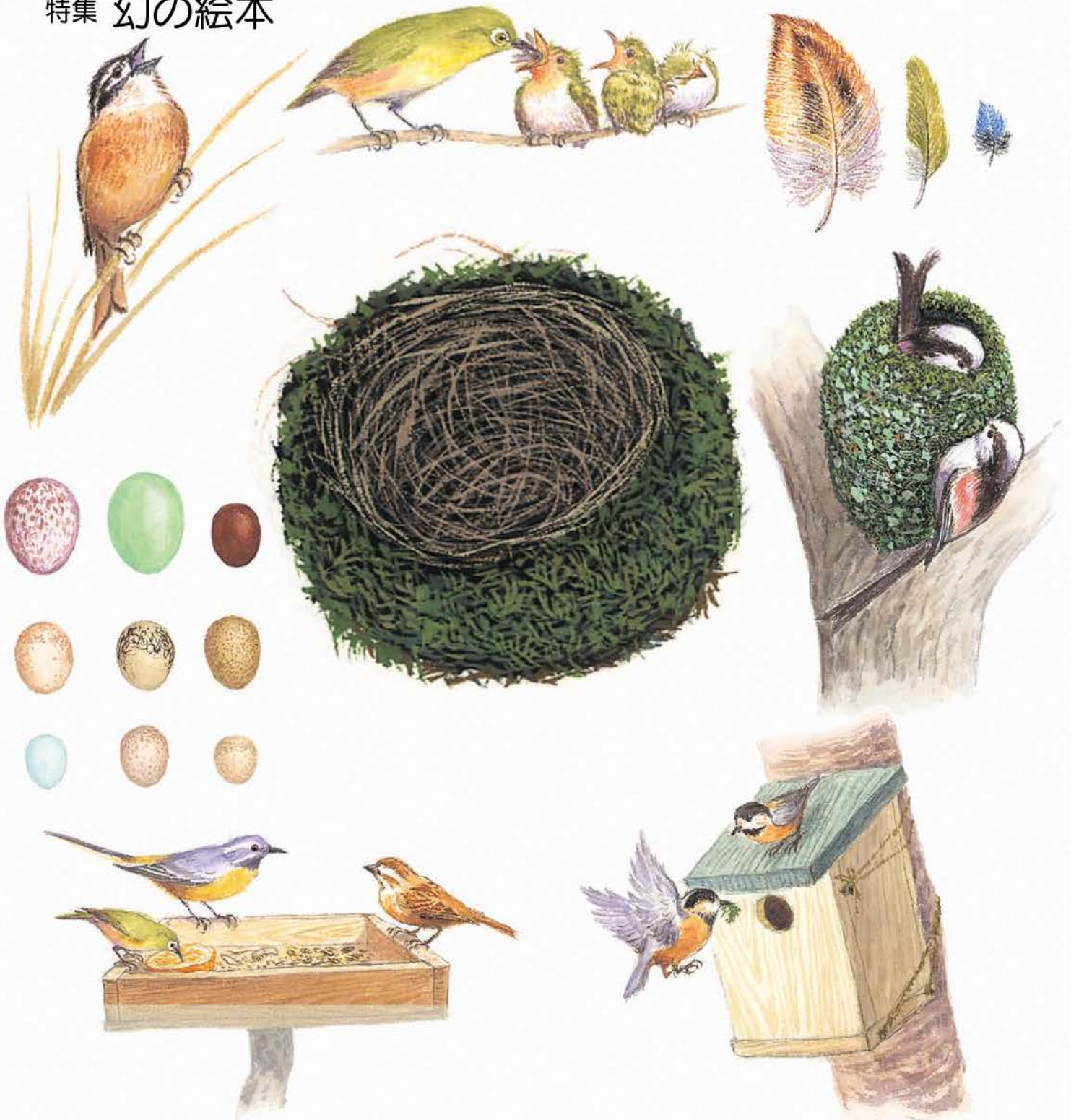
こころ育てる絵本との出会い

まがちゃん通信

2013 8 - 9 vol. **21**

絵本原画展 鈴木 まもる

特集 幻の絵本



鈴木 末まもる

新しい生命が産まれて育つ
鳥の巣を作ることは
物を創る根源的で純粹な行動
鳥が鳥の巣を作るように
ぼくも絵本を創りたい



鈴木まもる(すずき まもる)プロフィール

1952年東京に生まれる。東京芸術大学中退。
1995年「黒ねこサンゴロウ」シリーズ(偕成社)で赤い鳥さし絵賞受賞。
2006年『ぼくの鳥の巣絵日記』(偕成社)で講談社出版文化賞絵本賞受賞。
2002年ニューヨークはじめ、全国で「鳥の巣展覧会」を開催。NHK「プレミアム8、シャカイハタオリ」(ナミビアで撮影)に出演。アルベル国際動物映像祭特別審査員賞受賞。『世界の鳥の巣の本』(岩崎書店)はアメリカで英語版にて出版される。『日本の鳥の巣図鑑、全259』(偕成社)『おじいさんとヤマガラ』(小学館)などの鳥の巣の本以外に『せんろはつづく』(金の星社)『みんなあかちゃんだった』(小峰書店)などの絵本もある。



※9月11日(水)まで、ハタオリドリ、ツリスガラなど世界の不思議な鳥の巣を約10点展示します。

絵本原画展開催

平成25年8月1日(木)～9月26日(木)

原画展示絵本

『ぼくの鳥の巣絵日記』(偕成社)

山に暮らす「ぼく」が、四季を通して家の回りの鳥たちの巣作りや子育ての様子を絵日記風に描く。



『せんろはつづく まだつづく』(金の星社)

すごいなだ、どうする？ たかがいげた、どうする？



夏のギャラリーでは、鳥の巣の一年を描いた『ぼくの鳥の巣絵日記』
人気の「でんしゃ」シリーズから『せんろはつづくまだつづく』をご紹介します。

鈴木まもる先生に
インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？
小さい子どものころから絵を描くのが好きだし、本も好きだったので。

画材は何を使っていらっしゃいますか？
その時その時のイメージでいろいろで、決めてはいません。水彩アクリルガッシュが多いのは多いです。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話や
思いつきを教えてください。

『ぼくの鳥の巣絵日記』
ある日、家の周りを散歩していて、家の周りの自然の1年間を、鳥の巣という視点で、定点観測的な絵をつなげて、1冊の絵本にしようと思いました。季節の変化を表す風景と、普段見れない藪の中の鳥たちの行動を一緒に表現したかったので、左ページに同じ構図の風景を、右ページにそれぞれの場所、季節での鳥たちの細かい巣作り、子育ての行動という、見開きの左右を使った構成にしました。それからいつも通り毎日散歩しながら、今まで見て感じてきたものを再確認しつつ、さらに心の中にため込んで、染みこませていきました。この絵本を作ろうと思った時、同時に次作

絵本の『鳥の巣いろいろ』、その次の『鳥の巣ものがたり』も頭の中でイメージが湧きました。『ぼくの鳥の巣絵日記』で、今住む日常の自然の中での鳥の巣を描き、『鳥の巣いろいろ』で世界中の鳥の巣の形の違いから、鳥の巣の存在する意味をあらわし、『鳥の巣ものがたり』で、さらに鳥の巣の持つ、心の部分を表現しようという3部作的な構想が、いつべんに頭の中にパッと閃いて、あとは1作1作楽しく描いていきました。

『せんろはつづくまだつづく』
1作目『せんろはつづく』の続編ということ、小人の世界を追究したり、非日常の世界に行ったりと、いろいろな方向性が考えられ、文章の竹下さんと話し合いながらタミーを何種類も作りました。結局、線路のさらなる多様化ということに決まり、次の3作目の電車の多様化につながりました。今まで手がけられた絵本の中で、一番印象深い絵本は？(できれば理由も教えてください)
どれも全部です。1作1作どれもその時々描いていて嬉しいし大好きですから。

絵本をお作りになるときのこだわりは？
心の中でこれが描きたいという絵がパッと出てきて、そんな1枚1枚の“絵”としての世界と、それが集まった“本”という世界

になって…表紙から始まり、1枚の絵でありつつ…めくるという本の要素や“言葉”の要素を加味して…最後のページを閉じて、裏表紙を見て…また表紙を見て…「あー、こんな世界があって、嬉しいなあ」という気持ちになるように…

絵本を通じてお伝えになりたいことは？
それぞれの作品で違うので、見てください。
今後どのような絵本を描いていかれますか？
いろいろ、その時々で描きたいと思うことを絵本にしていきたいです。

ご趣味についてお聞かせください。
絵を描くこと、草刈り、植林、薪割り、道づくり、川の掃除、鳥の巣探しなど山の世話をすることなど、生きていくこと全般です。

ファンの方へメッセージをお願いします。
鳥の巣は、新しい生命が産まれて育つ、とっても大切で美しいものです。鳥の巣を作るという行為は、物を創る根源的で純粹な行動です。鳥が鳥の巣を作るように、ぼくも絵本を創ろうと思っています。

鈴木まもる先生、ありがとうございました！



鈴木まもる先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年令、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
あて先 鈴木まもるサイン本プレゼント係
締め切り 平成25年9月10日 消印有効
※発表は発送をもって代えさせていただきます。

8/24(土) 14:00~15:30
開館19周年記念感謝デー
「絵本と鳥の巣のふしぎ」

鳥の巣の研究を続ける鈴木まもる先生が実際に鳥の巣を見せながらお話されます。サイン会もあります。

入館無料

特集 / 幻の絵本



立野 幸雄
射水市大島絵本館 館長

胸底の原風景・幻の絵本

幼い頃、晩秋の夕暮れ時に木枯らしに吹かれて学校から家路へ急ぐ折り、決まっ

れないが、私の心の中で作り上げた絵本とは趣が異なってしまう、気づかなかつたのかもしれない。

*

頭に浮かぶ絵本があった。雪が降りしきる外界をよそに地中深くに蟻の巣のような幾つもの部屋があり、その部屋には様々な生き物の家族が、赤々と燃える暖炉やストーブを囲み、または、温かな炬燵や風呂に入り、湯気立ち上る夕食を頬ばったりして、いかにも和気藹々とした家族団欒の喜びに満ちあふれていた。その絵本の温かな家庭を思い浮かべながら、暮れなずむ草枯れの野の道を我が家の灯火を求めて急いだものだった。あれからずいぶんと年が経ったが、これまでの人生でも幾度となくあの絵本が思い浮かんだ。寂しくて悲しくてどうしようもなく虚しい時、決まってあの絵本が思い出された。そのつど、心に灯が点り、頑張ろうと心を奮い起こした。文学に志して以来、数百冊の本を読んできたが、それらの本よりも幼い頃のあの絵本が事ある毎に私の心を奮い立たせた。あの絵本は私の胸底の原風景になっていたようだ。だが、その絵本の詳細なことは覚えていない。書名すら分からない。まして、装丁や著者名などはまったく思い浮かばない。幾度となく探したが幻の絵本のままだった。案外探している間にその絵本に出会っていたのかも

絵本とは思議なものだ。幼い時に絵本を手取るので、どんな絵本だったか定かに記憶にとどめてはいないが、その絵本の頁の幾つかの断片が幼い心にくっきりと焼き付き、その強烈な印象が幼な心に自分なりの新たな絵本の世界を創り上げ、それが知らず知らずのうちにその人の生を導く。絵本は、幼い心に詩く(想像の種子で、その種子が日々の活動を養分として(創造の花を開かせ、人生を切り開く。そして、絵本は人生の始めに生きること、生きていくことの喜びを初めて感じさせる。幼い頃に絵本を読むことなく育った人の人生は何と無味乾燥で殺伐としていることだろう。だが、幼い頃に絵本を多く読んだ人の人生は何と豊かで希望に満ちていることか。

*

人は誰も幼い頃に読んだ幻の絵本を持っていて。その幻を消し去り、自分なりの絵本を創りあげ、その心を持ち続けているのが真に生きることに繋がるのではないだろうか。絵本は愛であり、光である。

私のおすすめ絵本

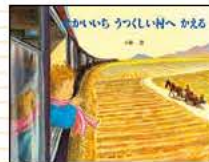
『なきすぎではいけない』

内田 麟太郎 / 作
たかすかずみ / 絵
(岩崎書店)
亡くなったおじいちゃんの言葉が、受け継いだ命を通して、ばくにいつも優しく語りかけます。



『せかいいち うつくしい村へかえる』

小林 豊 / 作
(ポプラ社)
戦いで荒れ果てた大地。戦いの愚かさや人の愛の素晴らしさが胸をみたまします。



『中島潔作品集 みすゞ憧憬』

中島 潔 / 画・文
金子みすゞ / 詩
(二玄社)
たまらなく切なくて、たまらなく心が癒される。頁をめくるたびに感動がわき上がる。



『詩ふたつ』

長田 弘 / 著
グスタフ・クリムト / 画
(クレヨンハウス)
絵は季節の壮大な物語を語り、詩は優しい曲となって心を満たします。



『赤い蠟燭と人魚』

小川未明 / 文
酒井駒子 / 絵
(偕成社)
人魚の悲しみを込めて赤い蠟燭の光が点ります。生きるとは何と哀しいことでしょう。



『名倉靖博画集 ムーミン』

名倉靖博 / 著
(白泉社)
疲れている時、ムーミン谷に出かけ、愉快な仲間たちと何もかも忘れて遊んでみては…。

